

みんなで  
つくろう

# 町の顔

## TMO構想が始動

さまざまな施設や機能が集中している町中心市街地がにぎわいをみせ、便利で快適な暮らしができるよう「町の顔」の再生が求められています。町は5月27日、空洞化が進む商店街の活性化を図るため葛巻町商工会が策定した「中小小売業高度化事業構想」（葛巻町TMO構想）を認定しました。ここでは、「まちづくりの一環」としてとらえているTMO構想についてお知らせします。



### TMO

商店街、行政、住民、その他事業者など地域を構成するさまざまな主体が参加し、中心市街地の商業を活性化するため、商業集積や基盤整備、イベントなどのソフト事業を総合的に管理・運営する団体  
＝Town Management Organizationの略称＝

### 衰退する町の商業

平成十年度に岩手県が実施した購買力調査によると、本町の地元購買率は四六・一割で、買物の五割以上が町外で行われています。地域に密着した営業を続けている小規模事業者にとって、極めて厳しい状況にあります。

商業の衰退は、昨年六月に実施した商業統計調査の結果にも現れています。本町の商店（卸

#### ■モウモウ館

「田の沢一帯」の整備  
(見学コース・ショップ・顧客用駐車場)

#### ■元町橋

町の中心地区には公共施設や商業、サービス業、居住などさまざまな機能が集中しています。商業の衰退は、特に町民生活の利便性の低下に直結しています。

町は、中心市街地活性化法に基づき、平成十四年度に「葛巻町中心市街地活性化基本計画」を策定しました。この計画の方針を受けて、葛巻町商工会（近藤慎一会長）は本年三月、葛巻町TMO構想を策定しました。

### TMO構想の策定

商業・小売業数は百四十五店、年間販売額は五十一億二千六百七十九万円です。平成九年と比較すると商店数で二一・一割、年間販売額では三三・四割減少し、小売業がかなり落ち込んでいます。



中村町長からTMO認定証を  
交付される近藤町商工会長⑥  
(町商工会館)